

アンケート調査における自治体の回答データの公表について

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（令和４年度分）の効果検証において、全ての地方公共団体に対してアンケート調査を実施（回答期間：R5.11.10～R5.12.8）。効果検証の公表に当たり、地方公共団体からの回答のうち下図赤枠箇所について整理し公表。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施報告（全般調査様式）

【回答における留意点】

・本シートは調査項目を確認頂く閲覧用シートでございます。事業ごとの回答は「回答入力シート」にご記入ください。

・本調査票は、3パートに分かれております。

調査項目A：全事業が回答対象となります。

調査項目B：令和４年度中に事業終期を迎えた事業のみが回答対象となります。回答が不要な事業は、「回答入力シート」の該当箇所がグレーアウトされます。

調査項目C：全国で実施されている「典型的事業」のみが回答対象となります。（※典型的事業の該当については設問3の回答結果により決定されます。回答が不要な事業は、「回答入力シート」の該当箇所がグレーアウトされます。）

調査項目A：令和４年度実施計画全事業&令和３年度実施計画事業のうち令和４年度以降に繰り越された全事業が回答対象となります。

I. 事業担当部署情報

○回答欄について			
☐ ：記述式	☐ ：プルダウン選択式	☐ ：半角数字での記述式	
担当部署課名	担当者氏名	メールアドレス	電話番号

II. 事業実施期間

1. 交付対象事業の名称および「事業の始期・終期（実績）」をお答えください。なお、令和５年度以降に繰り越した事業については、「繰越事業」に「○」を記入ください。

また、実施計画に掲載したものの、最終的に実施しなかった事業については「未実施」に「○」を記入ください。

注）交付金事業の名称は、表紙での団体選択に応じて実施計画作成時に選択いただいた内容がデフォルト表示されています。（※回答入力シート）

交付金事業の名称	始期 令和 年 月	終期 令和 年 月	実施状況 繰越事業の場合 事業未実施の場合
----------	--------------	--------------	--------------------------

III. 予算区分

令和４年度実施計画事業のみ

2. 交付対象事業の予算区分をお答えください。

予算区分

調査項目B：令和４年度中に事業終期を迎えた事業のみが回答対象となります。＊回答が不要な事業は「回答入力シート内」回答箇所がグレーアウトされます

IV. 事業基礎情報

3. 交付対象事業の分類について、あてはまるものをお答えください。

注）「経済対策との関係」は、実施計画内或時に選択いただいた内容が参考表示されています（※回答入力シート）。適宜変更のうえご回答頂いても問題ございません。

注）「経済対策との関係」について、緊急経済対策との関係には先頭①、総合経済対策との関係には先頭②、令和３年度経済対策との関係には③、原油価格・物価高騰等総合緊急対策との関係には④、物価高騰・経済再生実現のための総合経済対策との関係には⑤をつけております。

注）令和３年度以前実施事業で令和４年度に繰り越した事業は、①～⑤のいずれかを、令和４年度実施事業は①～⑤のいずれから選択してください。

注）事業分類はプルダウン選択形式となっています。複数該当するものがある場合は、主要な事業分類を１つ選択してください。選択対象となる事業分類一覧は別紙XXを参照ください。

経済対策分野との関係	→	事業分類（大分類）	事業分類（中分類）
------------	---	-----------	-----------

4. 本事業における予算執行状況（支出清額及び交付金充当金額）についてお答えください。

注）単位は「千円」での入力をお願いいたします。

支出清額(単位：千円)	→	うち交付金充当額(単位：千円)
-------------	---	-----------------

5. 交付金の対象経費の支出内訳のうち、事務費として活用された金額をお答えください。

注）委託費や外注費等、事業実施に活用した経費の合計額をお答えください。

注）単位は「千円」での入力をお願いいたします。

事務費(単位：千円)

Q3で「④-1」～「④-4」を選択した方のみ

6. 本事業はどのようなものの価格高騰に対する事業だったか、あてはまるものを全てお選びください。

注：電気料金の高騰に対応する事業のうち「特別高圧で受電する事業者等」への事業の場合、ガス料金の高騰に対応する事業のうち「LPガスの価格高騰」に対応する事業の場合はそれぞれお答えください。

☐ 燃料油価格の高騰	☐ 食料品価格の高騰	☐ 肥料料価格の高騰	☐ 費上げへの支援	☐ 水道料金の高騰
☐ 電気料金の高騰	(←うち、特別高圧分を含む場合 ☐)		☐ ガス料金の高騰	(←うち、LPガスの価格高騰を含む場合 ☐)
☐ その他（設備、資材、原料等）（具体的に：)				記載例：穀物価格の高騰（小麦等）

Q3で「④-1」～「④-4」を選択した方のみ

7. 本事業の「支援形態」について、物価高騰により生じた出費相当額に対する直接的な支援であったか、物価高騰の影響を受ける対象への幅広い支援であったかをお答えください。

注）「支援形態」に関する考え方には、別添「参考 2_臨時交付金効果検証QA」をご参照ください。

支援形態

Q3で「④-1」～「④-4」を選択した方のみ

8. 本事業は、支援対象を限定し、自、物価高騰の影響を受ける対象への幅広い支援を行う事業であったかをお答えください。

注）「支援対象を限定」とは、貴団体の世帯・事業者の一部を対象としたことを指します。

注）「物価高騰の影響を受ける対象への幅広い支援」に該当するかについては別添「参考 2_臨時交付金効果検証QA」をご参照ください。

物価高騰の影響を受ける対象への幅広い支援を行う事業であったか

調査項目C

：経済対策分野Ⅰ～Ⅳの事業を対象に、全国で実施されている「典型的事業」のみが回答対象となります。「典型的事業」に該当する事業分類の詳細は別紙XXを参照ください。＊回答が不要な事業は「回答入力シート内」回答箇所がグレーアウトされます

V. 成果目標の設定

9. 本事業の実施に当たって設定した成果指標についてお答えください。

指標名及び、指標の位置づけについて、選択肢から当てはまるものをお選びください。また、具体的な目標値や実績値をお答えください。

注）選択肢に表示されている指標以外を設定されている場合は「その他」を選択のうえ、具体的な成果指標をお答えください。

注）「指標の位置づけ」については下部の＜凡例＞を参考にお答えいただきますようお願いいたします。

注）定性的な目標を記入する場合は、目標値、実績値欄は「0」をご記入ください。

注）未入力と区別するため、実績値がゼロと確認された場合でも「0」をご記入ください。

＜凡例＞【指標の位置づけ】

① インプット	交付金事業に投入される資源（ヒト・モノ・カネ・時間）
② アウトプット	交付金事業による活動量（仕事の量・頻度・投下時間）
③ 交付金事業のアウトカム	交付金事業から直接的にもたらされる成果・効果
④ 総合的なアウトカム	様々な事業・施策・政策の総体によって得られる成果・効果

	指標名	分類（指標の位置づけ）				目標値	実績値	単位
指標1		☐ ①インプット	☐ ②アウトプット	☐ ③交付金事業のアウトカム	☐ ④総合的なアウトカム			
指標2		☐ ①インプット	☐ ②アウトプット	☐ ③交付金事業のアウトカム	☐ ④総合的なアウトカム			
指標3		☐ ①インプット	☐ ②アウトプット	☐ ③交付金事業のアウトカム	☐ ④総合的なアウトカム			

VI. 効果認識

10. 本事業実施による活動実績（アウトプット）等を総合的にご判断の上で、本交付金事業の感染拡大防止等への効果についてお答えください。また、その理由について具体的に回答ください。

事業効果【感染拡大防止】	具体的な理由
事業効果【経済活性化】	具体的な理由

本事業に関する内容は以上で全て終了です。

※回答不要・無回答の回答欄については空欄としている。

※公表している数値は調査実施時点の回答であり、実績値等は自治体が独自に実施した効果検証の数値と異なる可能性がある。